

第十回



レッツ・ハイク
俳句・赤城

入選作品

《白樺林の「句碑めぐりの道」にあなたの句を…》

中里麦外 選

特別賞（一般の部）

【群馬県知事賞】

吹っ越しや赤城の神の清め塩

児玉福司

【前橋市長賞】

芒野はなべて鶉色夕赤城

松井すみれ

【前橋市議会議長賞】

うぐいすも赤城の山を住まいにし

小池とよ

【（公財）前橋観光コンベンション協会理事長賞】

頂へ霧立ちのぼる山湖かな

池田宏浩

（子供の部）

【前橋市教育委員会教育長賞】

朝やけに鳥たちの声で目をさます

矢野桃糸

【赤城山観光連盟会長賞】

あかぎさんほたるぶくろがきれいだな

関口勝彦

【中里麦外賞】

せみの声山に響いて山の声

塚越若菜

【中里麦外賞】

山登り登るな登るな岩が言う

鳥崎知遥

入選（一般の部）

【春】
紺碧の赤城の峰々へ涅槃雪

吉田春野

【夏】
夏木立少年の風吹きぬけて

櫛毛百合子

【秋】
いわし雲赤城の山を包み込む

白石亜弥子

【冬】
赤城山在りて上州こぞことし去年今年

志田貴志生

（子供の部）

赤城山裾で小鳥が春を呼ぶ

高田葉里

地藏岳山びこ求めるおーいおーい

町田凜子

きつつきが葉のすき間から見えました

小出太いち

きりだらけ寒いしこけるしキズだらけ

今井陽菜乃

てんごくの入口みたいなしろいきり

清水こころ

覚満淵歩いて見つけた春の花

青木柊斗

木の间セミたちの声通ります

野口碧乃

地藏岳紅葉するよ木々たちが

堀江智美

ひつじたちつつじの中でしたのしそう

吉野美緒

赤城山虫もしぜんも気ままだな

大塚詩音

佳作（一般の部）

【春】

小沼わたる春蟬このと和す子等の声

川崎直子

【夏】

万緑を穿うがち赤城へ九十九折り

菅原康世

【秋】

木の実落つ赤城の山を軽くして

石川由美子

【冬】

覚満の底に神秘の枯木立

相澤登志子

（子供の部）

カッターや湖に霧光見えぬ

塩澤竜馬

小沼にはふわわきりたち遊んでる

米倉花名

大沼に吸いこまれてゆく夏の夕日

高澤 和

白樺林木の葉をぬらす夏のきり

中里優月

大沼の緑あふれて赤い橋

沼尾咲来

覚満淵霧とおいかけつこ夏の日々

清野 尽

ウグイスのなく声きこえた森の中

中里美月

いきなりきりがこくなりこわくなる

清水友愛

白樺の森のざわめきこちよ

橋爪花怜

赤ぎ山どうもろこしがおいしいよ

石川 花

学校賞（子供の部）

【最優秀学校賞】

太田市立西中学校



赤城山れんげつつじの会